

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **12**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	Ⅲ 健やか安心都市
施策名	① 市民主体の健康づくりの推進

所管部局	所管部局長の氏名
健康長寿福祉部	中村 悦雄

1 関連する個別計画

PLAN

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
健康増進計画(中間評価・見直し)	市民・関係団体・行政が一体となって、健康づくりに取り組むため策定(平成19年3月) ※ 計画の中間年にあたる平成23年度に、目標の達成状況の中間評価と見直しを実施。	平成24年3月(中間評価・見直し)	平成19年度～平成28年度	平成19年3月(策定)

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が3大死因となっており、検診では高脂血症、高血糖、高血圧などについて注意を要する方が多い。	総合検診受診率の向上を図り、健康教育、健康相談、血圧サポート倶楽部などにより、生活習慣病予防などの保健指導を行う。	市民が自ら健康管理を行うことで、生活習慣病を予防し、健康保持・増進を図る。	1 市民主体の健康づくりの推進 2 一次予防の重視 3 健康づくり支援体制の充実
2	妊娠中の疾病、低体重児出生児、子どもの疾病や障害(発達障害含む)がある、う歯の保有率が高いなどの状況がある。虐待予防、育児不安への支援が必要な家庭がある。	母子を対象に、各種健康診査、年中児発達サポート事業、子育て支援事業、う歯予防事業などにより、異常の早期発見治療をすすめ、保健指導を行う。	子どもの健やかな成長を促進し、家庭で安心して子育てができるようにする。	1 市民主体の健康づくりの推進 2 一次予防の重視 3 健康づくり支援体制の充実
3	自殺者は年々減少しているもののゼロにはならず、ストレスのある人や睡眠不足の人が増加する傾向にある。	自殺予防事業の実施にあたり、こころの健康の正しい知識の普及、ゲートキーパー等人材育成、相談窓口の充実を図る。	こころの健康づくりを広げるとともに、自殺者ゼロを目指す。	2 一次予防の重視 3 健康づくり支援体制の充実 4 自殺予防対策の推進
4	地域に健康づくりが浸透しにくい。	食生活改善推進員及び健康づくり推進員を育成し、地域の健康づくり活動を実施する。	地域にこころと身体の両面の健康づくりを浸透させる。	1 市民主体の健康づくりの推進 2 一次予防の重視 3 健康づくり支援体制の充実

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
健康な市民を増やします		う歯(むし歯)のない3歳児の割合	58%	H16	62.1%	H19	78.4%	H24	70%	H26
		胃がん検診の受診率	22%	H16	26.9%	H19	24.6%	H24	50%	H26
		乳がん検診の受診率	17%	H16	44.8%	H19	46.7%	H24	50%	H26
		子宮がん検診の受診率	15%	H16	42.1%	H19	44.3%	H24	50%	H26
		大腸がん検診の受診率	26%	H16	37.4%	H20	41.9%	H24	50%	H26
		肺がん検診の受診率	新規	-	43.5%	H20	44.8%	H24	50%	H26
		こころの健康づくりを進めます	「うつ予防」健康教室開催回数	新規	-	50回	H19	12回	H24	50回

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値(現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度		
京丹後市健康増進計画		小学校児童の肥満児の割合【重点項目】	男子	3.4%	H17	4.6%	H22	3.4%以下	H28
		小学校児童の肥満児の割合【重点項目】	女子	7.3%	H17	3.2%	H22	3.2%以下	H28
		20歳代女性のやせの割合【重点項目】		20.3%	H17	12.5%	H22	12.5%以下	H28
		肥満の割合【重点項目】	20～60歳代男性	21.5%	H17	19.4%	H22	15.0%以下	H28
			40～60歳代女性	17.9%	H17	9.7%	H22	9.7%以下	H28
		自分の適性体重を認識し、体重コントロールを実践する人の割合	20歳以上男性	48.9%	H17	56.9%	H22	90.0%以上	H28
			20歳以上女性	44.6%	H17	55.9%	H22	90.0%以上	H28
		自分の適性体重を維持することのできる食事量を理解している人の割合	成人男性	24.4%	H17	23.7%	H22	60.0%以上	H28
			成人女性	32.1%	H17	30.5%	H22	70.0%以上	H28
		脂肪エネルギー比率	20～40歳代	-	H17	-	H22	20.0～25.0%以上	H28
		食塩摂取量	成人	-	H17	-	H22	10g未満	H28
		魚介類を週3回以上摂取する人の割合	成人	39.0%	H17	38.4%	H22	39.0%以上	H28
		野菜を毎食摂取する人の割合【重点項目】	成人	23.8%	H17	24.6%	H22	23.8%以上	H28
		朝食を欠食する人の割合	中学生	4.7%	H17	0.8%	H22	0.0%	H28
			20歳代男性	18.9%	H17	24.2%	H22	18.9%以下	H28
			30歳代男性	22.9%	H17	10.6%	H22	10.6%以下	H28
		外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の割合	成人	48.1%	H17	49.9%	H22	49.9%以上	H28
		自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の割合	成人男性	63.2%	H17	61.3%	H22	80.0%以上	H28
			成人女性	72.0%	H17	72.4%	H22	80.0%以上	H28
		むし歯のない幼児の割合	3歳【重点項目】	60.2%	H17	78.4%	H24	71.9%以上	H28
			1歳半	94.5%	H17	97.3%	H24	100.0%	H28
		間食時間を決めている幼児の割合	3歳	69.8%	H17	60.6%	H24	69.8%以上	H28
		1人平均むし歯数	12歳	1.75本	H17	2.16本	H22	1本以下	H28
		20本以上の自分の歯を有する人の割合	80歳(75～84歳)	25.1%	H17	34.2%	H22	34.2%以上	H28
		24本以上の自分の歯を有する人の割合	60歳(55～64歳)	49.4%	H17	52.3%	H22	52.3%以上	H28
		歯間部清掃用器具の使用人の割合	40歳(35～44歳)	24.2%	H17	34.3%	H22	50.0%以上	H28
			50歳(45～54歳)	20.5%	H17	41.0%	H22	50.0%以上	H28
		過去1年間に定期的な歯科検診を受けた人の割合【重点項目】	60歳(55～64歳)	8.7%	H17	14.7%	H22	30.0%以上	H28
		意識的に運動を心がけている人の割合	男性	63.6%	H17	69.8%	H22	70.0%以上	H28
			女性	66.8%	H17	71.8%	H22	71.8%以上	H28
		日常生活における歩数	男性	5,986歩	H17	5,759歩	H22	9,000歩以上	H28
			女性	5,362歩	H17	5,781歩	H22	8,400歩以上	H28
			男性(70歳以上)	5,479歩	H17	5,447歩	H22	6,800歩以上	H28
			女性(70歳以上)	4,143歩	H17	4,921歩	H22	5,500歩以上	H28
		運動習慣者の割合【重点項目】	男性	27.6%	H17	31.5%	H22	50.0%以上	H28
			女性	27.9%	H17	30.5%	H22	50.0%以上	H28
		何らかの地域活動を実施している人の割合	男性(60歳以上)	28.5%	H17	30.8%	H22	50.0%以上	H28
			女性(60歳以上)	25.7%	H17	37.3%	H22	50.0%以上	H28
		ストレス(不満や悩み、苦勞など)を感じた人の割合		61.7%	H17	64.8%	H22	61.7%以下	H28
		睡眠による休養を十分にとれていない人の割合		39.9%	H17	43.8%	H22	10.0%以下	H28
寝るために飲酒をする人の割合		9.2%	H17	9.8%	H22	9.2%以下	H28		

個別計画	京丹後市健康増進計画	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値 (現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度		
		自殺者数		15人	H16	18人	H22	0人	H28
		自殺ゼロ対策やうつ予防を推進していることを認知している人の割合【重点項目】	知っている、聞いたことがある人の割合	44.0%	H22	44.0%	H22	44.0%以上	H28
		喫煙している人の割合【重点項目】	未成年者	—	H17	—	H22	0.0%	H28
			全体	20.5%	H17	13.5%	H22	13.5%以下	H28
			男性	38.1%	H17	26.8%	H22	26.8%以下	H28
			女性	6.3%	H17	2.8%	H22	2.8%以下	H28
		喫煙が及ぼす健康影響を知っている人の割合	肺がん	79.2%	H17	87.2%	H22	100.0%	H28
			喘息	39.5%	H17	47.0%	H22	100.0%	H28
			気管支炎	51.7%	H17	61.0%	H22	100.0%	H28
			心臓病	39.4%	H17	42.9%	H22	100.0%	H28
			脳卒中	37.2%	H17	42.9%	H22	100.0%	H28
			胃潰瘍	20.4%	H17	22.0%	H22	100.0%	H28
			妊娠に関連した異常	57.1%	H17	63.2%	H22	100.0%	H28
			歯周病	18.3%	H17	22.6%	H22	100.0%	H28
		分煙を実施している割合	公共の場	—	H17	100%	H22	100.0%	H28
			職場	—	H17	100%	H22	100.0%	H28
		未成年者の飲酒割合		—	H17	—	H22	0.0%	H28
		多量(3合以上)に飲酒する人の割合	男性	7.7%	H17	6.8%	H22	3.4%以下	H28
			女性	0.5%	H17	0.7%	H22	0.2%以下	H28
		「節度ある適度な飲酒」について知っている人の割合【重点項目】	男性	59.3%	H17	55.5%	H22	100.0%	H28
			女性	44.7%	H17	36.7%	H22	100.0%	H28
		健康診査の受診率	健康診査(20~39歳)	35.4%	H17	30.1%	H22	100.0%	H28
			特定健康診査(40~74歳)、健康診査(75歳以上)	38.8%	H17	31.8%	H22	100.0%	H28
		高血糖者の割合	健康診査・特定健康診査受診者の中の要指導・要医療者割合	32.7%	H17	27.9%	H22	27.9%以下	H28
		血圧高値異常者の割合		61.2%	H17	43.4%	H22	43.4%以下	H28
		脂質異常者の割合		47.5%	H17	44.9%	H22	44.9%以下	H28
		肥満者の割合		18.7%	H17	19.0%	H22	19.0%以下	H28
		うす味を心がける人の割合【重点項目】		48.8%	H22	48.8%	H22	48.8%以上	H28
		油をとり過ぎないよう心がけている人の割合【重点項目】		55.7%	H22	55.7%	H22	55.7%以上	H28
		胃がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	13.3%	H17	24.6%	H24	100.0%	H28
		肺がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	22.5%	H17	44.8%	H24	100.0%	H28
		乳がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	16.7%	H17	46.7%	H24	100.0%	H28
		子宮がん検診の受診率【重点項目】	20歳以上	26.6%	H17	44.3%	H24	100.0%	H28
		大腸がん検診の受診率【重点項目】	40歳以上	17.7%	H17	41.9%	H24	100.0%	H28
		肝炎ウイルス検査の受診率【重点項目】	40歳以上	3.5%	H22	3.7%	H24	100.0%	H28
		壮年期のがん死亡率(人口10万対)【重点項目】	30~64歳	56.9人	H22	45.2人	H23	56.9人以下	H28
		メタリックシンドロームを認知している人の割合【重点項目】		68.8%	H22	68.8%	H22	80%以上	H28
		メタリックシンドローム該当者と予備軍の割合【重点項目】		21.2%	H22	23.5%	H24	15.9%	H28
		特定保健指導実施率【重点項目】		13.0%	H22	14%	H24	60%	H28

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果			
			H24決算額	H25予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単 独 事 業	事 業 種 別	対 象	実 施 手 法	関 与 必 要 性	数 値	説 明	施 策 目 的	施 策 貢 献 度
1 市民主体の健康づくりの推進	1 食育推進基本方針策定事業	健康推進課	-	449 (449)	平成25年度新規事業										
	2 保健センター管理運営事業	健康推進課	1,864	1,256 (1,256)	市規 定	単 費	○	維 持 管 理	市 民	直・ 委	1	該 当 な し	1,2	A	現 状 維 持
	3 保健衛生総務一般経費	健康推進課	9,411	10,482 (10,437)	なし	単 費	○	内 部 管 理	-	-	-	-	1,2	A	現 状 維 持
	4 健康づくり推進員活動事業	健康推進課	1,002	1,255 (1,056)	市規 定	府・ 一 部	-	サ ー ビ ス	市 民	直	4	民 間 補 完 福 祉 増 進	1,2,4	A	現 状 維 持
	5 在宅健康管理システム事業【Ⅲ-⑥にも該当】	健康推進課	3,265	2,776 (2,776)	市規 定	単 費	○	サ ー ビ ス	市 民	直・ 委	4	民 間 補 完 福 祉 増 進	1	A	現 状 維 持
2 一次予防の重視	1 地域健康づくり推進事業	健康推進課	381	317 (317)	国規 定	単 費	○	サ ー ビ ス	市 民	直	4	民 間 補 完 福 祉 増 進	1,2,4	A	現 状 維 持
	2 健康相談・指導事業	健康推進課	1,986	2,305 (1,830)	国規 定	府・ 一 部	-	サ ー ビ ス	市 民	直	4	民 間 補 完 福 祉 増 進	1	A	現 状 維 持
	3 予防接種事業	健康推進課	96,519	101,920 (101,920)	義務	単 費	○	サ ー ビ ス	市 民	-	6	生 命 財 産 権 利 保 護	2	S	現 状 維 持
	4 子宮頸がん等予防接種事業	健康推進課	46,442	51,985 (51,985)	国規 定	国・ 一 部	-	サ ー ビ ス	市 民	委・ 扶	6	生 命 財 産 権 利 保 護	2	S	現 状 維 持
3 健康づくり支援体制の充実	1 不妊治療費助成金	健康推進課	1,197	1,000 (500)	国規 定	府・ 一 部	-	サ ー ビ ス	市 民	補	1	該 当 な し	2	A	現 状 維 持
	2 母子健康支援事業	健康推進課	11,646	11,768 (11,121)	義務	府・ 一 部	含 む	サ ー ビ ス	市 民	直	6	生 命 財 産 権 利 保 護	2	A	現 状 維 持
	3 妊婦健康支援事業	健康推進課	29,312	30,058 (30,058)	国規 定	府・ 一 部	-	サ ー ビ ス	市 民	委	6	生 命 財 産 権 利 保 護	2	A	現 状 維 持
	4 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業	健康推進課	407	586 (309)	義務	府・ 一 部	含 む	サ ー ビ ス	市 民	直	6	生 命 財 産 権 利 保 護	2	A	現 状 維 持
	5 総合検診事業	健康推進課	103,436	99,230 (91,908)	国規 定	国・ 一 部	-	サ ー ビ ス	市 民	直・ 委	4	民 間 補 完 福 祉 増 進	1	S	現 状 維 持
	6 機能訓練事業	健康推進課	143	227 (227)	国規 定	単 費	○	サ ー ビ ス	市 民	直	4	民 間 補 完 福 祉 増 進	1	A	現 状 維 持
4 自殺予防対策の推進	1 自殺予防対策事業	健康推進課	1,923	2,499 -	国規 定	国 府 全 額	-	サ ー ビ ス	市 民	直	5	生 活 支 援 安 全 網	3	A	現 状 維 持
		計	308,934	318,113 (306,149)											

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位：千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	総合検診事業のうちがん検診の一部について、検診料の一部負担金を徴収する。	1,911千円	低所得者は減免措置が必要
	2	保健センターの運営について、利用状況や施設管理状況等の面から、有効な活用に向けて他施設への転用などを検討する。(弥栄保健福祉センター)	390千円	

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	02保健センター-管理運営事業			
細事業名	01 保健センター-管理運営事業					決算書	P.164
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
1,864千円		1,886千円	22千円	98.8%	1,872千円		
目的	保健事業の拠点となる保健センター（大宮、網野、丹後）の適切な維持管理及び運営を行い、市民の疾病予防、健康の保持増進を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	乳幼児健診、予防接種、健康・介護予防教室事業等の保健事業が円滑に実施され、市民の保健福祉増進の拠点として貢献した。						
	○大宮保健センター（利用者：52件、1,664人）					36千円	
	プロパンガスの燃料費					36千円	
	○網野保健センター（利用者：131件、4,001人）					708千円	
	プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか					588千円	
	施設清掃等の委託料					120千円	
	○丹後保健センター（利用者：11件、180人）					551千円	
	プロパンガスの燃料費、光熱水費ほか					300千円	
	電話代等					37千円	
	施設警備・施設清掃等の委託料					206千円	
ガス警報器の使用料					8千円		
○弥栄保健福祉センター（利用者：22件、284人）					389千円		
土地借上料（991.73㎡）ほか					389千円		
○久美浜保健センター（利用者：32件、563人）							
※維持管理経費は久美浜庁舎管理事業から支出							
					180千円		
○その他（ごみ処理手数料ほか）					180千円		
主な財源							
評価・課題等	<p>○施設の適正な維持管理を行うことで、各種保険事業が円滑に実施され、保健福祉増進の拠点として貢献することができた。</p> <p>○平成24年度は、丹後保健センター機能を丹後庁舎に移転することで、利用者の利便性の向上に努めた。なお、丹後保健センター施設は、当面の間、書庫・倉庫として活用する。</p>						
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課						

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	50保健衛生総務一般経費																																								
細事業名	01 保健衛生総務一般経費			決算書 P.166																																								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																																								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																																								
9,411千円		9,509千円	98千円	98.9 % 8,123千円																																								
目的	各種保健事業を円滑に実施するために必要な臨時職員賃金、研修旅費、各種負担金などの経費。																																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>保健事業の実施に伴い必要な臨時職員の任用や、各種研修・研究会等へ参加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○産休代替保健師の任用経費（保健師3人、栄養士1人）</td> <td>5,280 千円</td> </tr> <tr> <td> 社会保険料・雇用保険料</td> <td>869 千円</td> </tr> <tr> <td> 臨時保健師賃金</td> <td>3,072 千円</td> </tr> <tr> <td> 臨時栄養士賃金</td> <td>1,339 千円</td> </tr> <tr> <td>○職員研修等経費</td> <td>928 千円</td> </tr> <tr> <td> 普通旅費（研修旅費）</td> <td>325 千円</td> </tr> <tr> <td> 消耗品費（事務用品、書籍ほか）</td> <td>603 千円</td> </tr> <tr> <td>○備品購入費</td> <td>218 千円</td> </tr> <tr> <td> 出前講座用ノートパソコン購入費（2台）</td> <td>218 千円</td> </tr> <tr> <td>○健康管理システム保守経費（負担金）</td> <td>1,919 千円</td> </tr> <tr> <td> 共同利用負担金（保守経費）</td> <td>1,560 千円</td> </tr> <tr> <td> システム移行負担金</td> <td>359 千円</td> </tr> <tr> <td>○その他の総務費用</td> <td>185 千円</td> </tr> <tr> <td> 栄養士会・保健師協議会等負担金</td> <td>101 千円</td> </tr> <tr> <td> 医薬材料費</td> <td>7 千円</td> </tr> <tr> <td> 保健福祉事業医療賠償保険料</td> <td>76 千円</td> </tr> <tr> <td> 有料道路通行料</td> <td>1 千円</td> </tr> <tr> <td>○償還金</td> <td>881 千円</td> </tr> <tr> <td> 前年度感染症予防事業等国庫補助金補助金返還金</td> <td>881 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 9,411 千円</td> </tr> </table>				○産休代替保健師の任用経費（保健師3人、栄養士1人）	5,280 千円	社会保険料・雇用保険料	869 千円	臨時保健師賃金	3,072 千円	臨時栄養士賃金	1,339 千円	○職員研修等経費	928 千円	普通旅費（研修旅費）	325 千円	消耗品費（事務用品、書籍ほか）	603 千円	○備品購入費	218 千円	出前講座用ノートパソコン購入費（2台）	218 千円	○健康管理システム保守経費（負担金）	1,919 千円	共同利用負担金（保守経費）	1,560 千円	システム移行負担金	359 千円	○その他の総務費用	185 千円	栄養士会・保健師協議会等負担金	101 千円	医薬材料費	7 千円	保健福祉事業医療賠償保険料	76 千円	有料道路通行料	1 千円	○償還金	881 千円	前年度感染症予防事業等国庫補助金補助金返還金	881 千円		合計 9,411 千円
○産休代替保健師の任用経費（保健師3人、栄養士1人）	5,280 千円																																											
社会保険料・雇用保険料	869 千円																																											
臨時保健師賃金	3,072 千円																																											
臨時栄養士賃金	1,339 千円																																											
○職員研修等経費	928 千円																																											
普通旅費（研修旅費）	325 千円																																											
消耗品費（事務用品、書籍ほか）	603 千円																																											
○備品購入費	218 千円																																											
出前講座用ノートパソコン購入費（2台）	218 千円																																											
○健康管理システム保守経費（負担金）	1,919 千円																																											
共同利用負担金（保守経費）	1,560 千円																																											
システム移行負担金	359 千円																																											
○その他の総務費用	185 千円																																											
栄養士会・保健師協議会等負担金	101 千円																																											
医薬材料費	7 千円																																											
保健福祉事業医療賠償保険料	76 千円																																											
有料道路通行料	1 千円																																											
○償還金	881 千円																																											
前年度感染症予防事業等国庫補助金補助金返還金	881 千円																																											
	合計 9,411 千円																																											
主な財源																																												
評価・課題等	<p>○専門職としての研修への参加等により、保健事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○今後も、法改正等による事業内容の増加や変更に伴い、各種研修会等に参加し、保健指導の専門性を更に深める必要がある。</p>																																											
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																											

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	03健康づくり推進員活動事業																
細事業名	01 健康づくり推進員活動事業					決算書	P.168													
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進															
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
1,002千円		1,084千円	82千円	92.4%	1,286千円															
目的	地域の健康づくりリーダーとして健康づくり推進員を委嘱し、その研修と活動の支援を行うことで、市民主体の健康づくりを地域で推進する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民主体の健康づくりを推進するため、健康づくり推進員を対象に、歩いてすすめる健康づくりを地域に普及するための研修を行い、健康づくり推進員による地域での運動教室などの地区活動を行った。その他、地域での検診受診勧奨、イベントを通じて健康づくりに関する普及啓発を行った。</p> <p>○研修会の開催</p> <p>全体研修会（4月10日）午後部・夜部延べ2回 参加人数：126人 講義「これからでも遅くない！あなたの体づくりと地域の健康づくり」 講師：京都医療センター管理栄養士 松岡 幸代 氏</p> <p>○ブロック研修会の開催（6月・3月に延べ8回実施） 参加人数：184人</p> <p>6月講義「これからでも遅くない！あなたの体づくりと地域の健康づくり」 講師：健康運動実践指導者 今岡 梨花子 氏</p> <p>3月講義「健康づくりの第1歩。地域の皆さんに総合検診を受けていただくために」 講師：京都大学大学院 大倉 美佳 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員活動謝礼品（3,000円×223人） 637千円 ・講師謝金（3人） 154千円 ・費用弁償（講師旅費） 21千円 ・消耗品費（パンフレット、パネル他） 118千円 ・通信運搬費（郵便代） 72千円 <p>健康づくり推進員（平成25年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>48人</td> <td>33人</td> <td>35人</td> <td>23人</td> <td>14人</td> <td>70人</td> <td>223人</td> </tr> </table> <p>任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日（2年間）</p>						峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	48人	33人	35人	23人	14人	70人	223人
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計													
48人	33人	35人	23人	14人	70人	223人														
主な財源	府補	健康増進事業費補助金（2/3）				171千円														
評価・課題等	<p>○第2期推進員の1年目の年であり、研修を重ねることにより、自分の健康に関心を持つとともに、各種研修会を通して、地域の健康づくりに目を向ける意識づけができた。</p> <p>○歩いてすすめる健康づくりの推進に向けて、地区ウォーキングの取り組みや健康教室の開催など推進員活動が活発化してきた。一方で、1年交代の地区は、活動の基盤ができにくく、地区活動への進展に至らない課題もある。</p>																			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	04在宅健康管理システム事業		
細事業名	01 在宅健康管理システム事業				決算書	P.168
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
3,265千円		3,335千円	70千円	97.9%	3,335千円	
目的	市民が自動血圧計と携帯専用端末機を使い、在宅での血圧測定を習慣化し、健康管理意識を高めていくことにより、生活習慣病や早世、寝たきりなどの予防を推進していく。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民が在宅で、自動血圧計と携帯電話網に接続した携帯専用端末機を使い、健康情報（血圧、脈拍、体調、歩数、体重）を市のサーバに送り、保健師等がモニターをして必要に応じた健康指導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康指導臨時保健師賃金（保健師1人） 480千円 ○消耗品費（指導用リーフレットほか） 121千円 ○通信運搬費（結果レポート郵送通知） 59千円 ○委託料（情報通信技術業務委託料） 2,520千円 ○使用料（ソフトウェア使用料） 85千円 <p>○利用状況（平成24年4月～平成25年3月累計）</p> <p>利用者数 延べ 237人 （最大稼働月6月：145台、最小稼働月10月：93台）</p> <p>年間平均稼働率 62.4% 1人当たりの血圧データ送信回数/月 33.6回</p> <p>○指導状況</p> <p>電話での保健指導（対応） 延べ 201件 メール指導 延べ 2,556件 訪問・来所 延べ 193件</p> <p>※保健師10人、臨時保健師1人が担当を受け持ち対応</p>					
	主な財源	府補 未来づくり交付金（在宅健康管理システム事業）				1,000千円
評価・課題等	<p>○利用者の多くに血圧改善がみられた。また、本事業の利用をきっかけに、生活改善に取り組んだ方も多く、健康管理意識の向上につながった。</p> <p>○医療機関への受診につながった利用者も多く、脳卒中などの合併症の発生予防につながり、医療費の削減が期待できる。利用期間を最長1年としていることから、より多くの市民に順次利用していただき、高い稼働率を維持できるよう、周知、勧奨等を継続していく必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	02保健対策費	01地域健康づくり推進事業																
細事業名	01 地域健康づくり推進事業					決算書	P.168													
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進															
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額														
381千円		556千円		175千円	68.5%	556千円														
目的	健康づくりに対する意識を啓発するとともに、健康づくりの重要な要素である栄養の視点から食生活改善のための地域活動を推進する。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>健康づくりに欠かせない食生活の視点から、健康づくりを推進するため、食生活改善推進員を対象に管理栄養士による研修を実施。それを受けて食生活改善推進員が地域住民へ、生活習慣病予防などのための伝達講習会を行い、市民の健康づくりを支援した。</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>◎地域活動を進めるための研修会 77千円</p> <p>○総会時全体研修会「糖尿病 基本から最新の話まで」 講師：たんご協立診療所 所長 寺本 敬一氏 参加人数：61人</p> <p>○各支部毎の研修会 担当：健康推進課管理栄養士 6支部×2回開催（参加人数：延べ206人）</p> <p>第1回「糖尿病予防①」 講話と調理実習 101人 第2回「糖尿病予防②」 講話と調理実習 105人</p> <p>事業費：講演会講師謝金（28千円）、消耗品費（48千円）、会場借上料（1千円）</p> <p>◎養成講座 51千円 地域における食生活改善を中心に活動を積極的に推進する食生活改善推進員を養成。 6講座 11人修了</p> <p>◎地域伝達講習会 253千円 26回開催、参加人数：延べ460人 食生活改善推進員による地域住民へ、健康づくりに欠かせない食生活の視点から生活習慣病予防などのための講習会を行い、市民の健康づくりを支援する。 事業費：食生活改善推進員謝金（3,000円×52人＝156千円） 消耗品費（97千円）</p> <p>【会員数】</p> <table border="1"> <tr> <td>峰山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>31人</td> <td>37人</td> <td>26人</td> <td>40人</td> <td>30人</td> <td>20人</td> <td>184人</td> </tr> </table>						峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	31人	37人	26人	40人	30人	20人	184人
	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計													
31人	37人	26人	40人	30人	20人	184人														
主な財源																				
評価・課題等	<p>○食生活改善推進員を対象とした研修会を実施することにより、食に関する豊かな知識を得るとともに、地域における普及活動を支援できた。</p> <p>○壮年期及び高齢期だけでなく、子育て世代も対象に地域伝達講習会を実施し、市民の健康づくりを支援することができた。</p> <p>○今後も市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいけるよう、正しい知識を普及啓発していく必要がある。</p>																			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	01健康相談・指導事業
細事業名	01 健康相談・指導事業			決算書 P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,986千円		2,094千円	108千円	94.8 % 2,750千円
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に生活習慣を振り返り、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民の健康増進や疾病予防を目的に、健康相談・保健指導・栄養指導事業を実施した。健康相談では、個別に具体的な生活改善指導を実施した。健康教育は、生活習慣病予防・心の健康・介護予防などの集団健康教育による普及啓発を実施した。</p> <p>【健康相談】</p> <p>結果報告会（平成24年7月3日～11月16日、37日間） 延べ44会場 2,518 人参加</p> <p>栄養相談（予約制） 182 人実施</p> <p>【集団健康教育】</p> <p>結果報告会集団健康教育 194 回 3,049 人参加</p> <p>健康づくり講演会 1 回 73 人参加</p> <p>「血管から健康に ～はじめよう血管を大切にする生活～」 講師：市立久美浜病院 内科部長 瀬尾 泰正</p> <p>出前講座 106 回 2,203 人参加</p> <p>○指導者や講師に関する経費 809 千円 臨時保健師・栄養士賃金 781 千円 講師謝金、旅費 28 千円</p> <p>○事業の教材・資材・消耗品・その他通知に関する費用 1,167 千円 消耗品費 291 千円 印刷製本費 289 千円 通信運搬費 587 千円</p> <p>○その他の経費 10 千円 会場借上料等 10 千円</p>			
主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）		423千円
評価・課題等	<p>○多くの市民に健康情報を伝え、自分の健康について振り返り考えてもらう機会となっている。</p> <p>○講演会は、参加者が減少する傾向があったが、平成24年度に血管年齢測定などの体験コーナーを実施したところ参加者が増加した。今後も参加者増加につながる魅力ある方法を検討する必要がある。</p> <p>○出前講座は依頼数が多く、希望団体や内容なども多岐にわたり、地域のニーズが高い事業であるが、通常業務との調整など、一定の整理が必要である。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01 予防接種事業		
細事業名	01 予防接種事業				決算書	P.172
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
96,519千円		96,647千円	128千円	99.8%	101,271千円	
目的	伝染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、病気のまん延防止を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	予防接種法に基づき子どもの定期予防接種及び高齢者インフルエンザを実施した。					
	〔予防接種の種類・接種者数等〕					
	区 分	対象者(人)	接種者(人)	接種率(%)		
	BCG	364	313	86.0		
	ポリオ(生ワクチン)	635	260	40.9		
	ポリオ(不活化ワクチン)	2,039	1,418	69.5		
	二種混合	179	125	69.8		
	三種混合	1,706	1,335	78.3		
	四種混合	345	263	76.2		
	麻疹風しん(1期)	497	408	82.1		
	麻疹風しん(2期)	478	445	93.1		
	麻疹風しん(3期)	643	638	99.2		
	麻疹風しん(4期)	691	635	91.9		
日本脳炎	7,154	2,601	36.4			
インフルエンザ 65歳以上	18,557	10,831	58.4			
インフルエンザ 60~64歳(障害者)	37	17	45.9			
○医師派遣委託料				917千円		
○臨時看護師賃金				62千円		
○事務経費(旅費・消耗品・役務費等)				884千円		
○ワクチン等医薬材料費(集団予防接種用)				3,034千円		
○個別予防接種委託料				91,326千円		
○予防接種助成金等給付費				296千円		
主な財源						
評価・課題等	<p>○ポリオ予防接種について予防接種法の改正により平成24年9月から医療機関での個別接種(8月までは各町保健センター等での集団接種)に変更になったものの、市民への周知や医療機関との連携などの結果、ほぼ例年並みの接種率での実施ができた。</p> <p>○予防接種法に基づく予防接種であり、更なる接種率の向上のために、情報提供、接種体制の充実に努める必要がある。</p>					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	05予防費	01予防接種事業		
細事業名	02 子宮頸がん等予防接種事業			決算書 P.172		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
46,442千円		46,858千円		416千円	99.1%	72,986千円

目的	子宮頸がん及び乳幼児の髄膜炎を予防する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	子宮頸がん予防（HPV）ワクチン、ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成する。			
	●接種対象者			
		対象者	接種回数	
	子宮頸がん予防ワクチン	中学1年相当～高校1年相当	3回	
	ヒブワクチン	0歳児～4歳児	4回	
	小児用肺炎球菌ワクチン	0歳児～4歳児	4回	
	●接種実績		(単位：人)	
		被接種者数	延べ接種者数	
	子宮頸がん予防ワクチン	中学1年生	291	769
		中学2年～高校1年生	100	110
高校2年生		28	32	
ヒブワクチン	985	1,650		
小児用肺炎球菌ワクチン	1,038	1,709		
※高校2年生は、平成23年度中に接種を受けた方が対象				
○需用費	消耗品費（予診用紙代）	19 千円		
○役務費	通信運搬費（郵送料）	37 千円		
	手数料（審査支払手数料）	141 千円		
○扶助費	子宮頸がん予防ワクチン接種費用給付費	13,902 千円		
	ヒブワクチン接種費用給付費	13,860 千円		
	小児用肺炎球菌ワクチン接種費用給付費	18,483 千円		
主な財源	府補 子宮頸がん等予防ワクチン接種費補助金（1/2）	23,212千円		
評価・課題等	○子宮頸がん予防ワクチンの接種率は高いが、ヒブ及び小児用肺炎球菌ワクチンの乳幼児期の接種率は低いため、適正な時期に確実に接種できるように、情報提供及び指導を行う必要がある。 ○予防接種法の改正により平成25年度から3ワクチンが定期予防接種として追加されたことから、適正な時期・接種間隔で計画的に予防接種を受けられるよう更なる情報提供に努める必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	01不妊治療費助成事業																								
細事業名	01 不妊治療費助成金			決算書 P.170																								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進																								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																								
1,197千円		1,198千円	1千円	99.9 % 1,000千円																								
目的	<p>少子化対策の一環として、不妊治療を受けられている夫婦に対して、不妊治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。</p>																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>医療保険適用の治療、人工授精を助成対象として、自己負担額の1/2以内で助成した。 (1人あたり100千円/年度が上限、ただし保険適用のみの場合60千円/年度を上限)</p>																											
	<p>〈不妊治療助成金交付実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人員</td> <td>26人</td> <td>32人</td> <td>34人</td> <td>30人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>31件</td> <td>41件</td> <td>41件</td> <td>35件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>492千円</td> <td>563千円</td> <td>704千円</td> <td>1,018千円</td> <td>1,197千円</td> </tr> </tbody> </table>					H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	実人員	26人	32人	34人	30人	32人	件数	31件	41件	41件	35件	40件	助成金額	492千円	563千円	704千円	1,018千円	1,197千円
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度																						
	実人員	26人	32人	34人	30人	32人																						
件数	31件	41件	41件	35件	40件																							
助成金額	492千円	563千円	704千円	1,018千円	1,197千円																							
<p>※平成23年度から、上限額を30千円から100千円に拡充するとともに、治療の対象に人工授精を追加した。</p> <p>※内、人工授精に対する助成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人員</td> <td>7人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>7件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>助成金額</td> <td>91千円</td> <td>265千円</td> </tr> </tbody> </table>					H23年度	H24年度	実人員	7人	14人	件数	7件	16件	助成金額	91千円	265千円													
	H23年度	H24年度																										
実人員	7人	14人																										
件数	7件	16件																										
助成金額	91千円	265千円																										
<p>※不妊治療助成制度は、国の少子化対策の一環として市が制度化しているものであり、京都府においては、市町村への助成制度とは別に府の事業として、特定不妊治療助成事業を実施している。</p> <p>〈特定不妊治療助成事業の利用状況〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人員</th> <th>件数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24年度</td> <td>27人</td> <td>47件</td> <td>6,390千円</td> </tr> </tbody> </table>					実人員	件数	助成額	H24年度	27人	47件	6,390千円																	
	実人員	件数	助成額																									
H24年度	27人	47件	6,390千円																									
主な財源	府補 不妊治療給付事業助成費補助金 (1/2)			599千円																								
評価・課題等	<p>○不妊治療を受ける夫婦について、不妊治療にかかる費用負担を軽減することができた。また、助成金交付者の約4割が妊娠出産されており、少子化対策に有効である。</p> <p>○今後も、制度の有効活用のため、引き続き制度の広報など周知を行う必要がある。</p>																											
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																											

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業		
細事業名	01 母子健康支援事業			決算書 P.170		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額		
11,646千円		11,834千円	188千円	98.4 % 12,263千円		
目的	妊娠中から出産、子育て期間を通じて、健診、各種教室を実施することで、保護者が自信を持って子育てができるように支援し、子どもの健やかな成長発達を促す。					
主要な事務・事業及び成果の概要	【乳幼児健康診査】		10,591 千円			
	発達節目に乳幼児健康診査を実施し、疾病や障害の早期発見、治療、療育に結びつける機会とする。また、保健指導等で保護者への育児支援を行い、子どもへの虐待防止にもつなげる。					
	〔乳幼児健康診査実績〕		(単位：人、回、%)			
	対象	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	前年度受診率
	4か月児	372	25	368	98.9	97.8
	10か月児	377	25	369	97.8	98.3
	1歳8か月児	380	27	371	97.6	97.8
	2歳6か月児	396	26	376	94.9	97.7
	3歳児	426	29	421	98.8	96.2
	臨時保健師・歯科衛生士賃金		1,886 千円			
小児科医・歯科医師委託料		8,110 千円				
消耗品費、案内送料など		595 千円				
【むし歯予防事業】		567 千円				
乳幼児健康診査時のフッ素塗布(82回) 保育所幼稚園歯科教室(30回)						
歯科講演会(3回) フッ化物洗口事業(12保育所 1幼稚園 3小学校)						
歯科医師謝金(講演会)		143 千円				
歯科衛生士謝金(むし歯予防教室)		180 千円				
医薬材料費(塗布用・洗口用薬剤)ほか		244 千円				
【母子等健康支援教室開催事業】		435 千円				
両親学級12回(77組) 離乳食教室14回(126人) 離乳食キッチン8回(44人)						
【その他経費】		53 千円				
旅費等		53 千円				
主な財源	府補 フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金			694千円		
評価・課題等	○乳幼児健診や各種教室を実施することで、発達や育児面で気になる乳幼児の早期発見、早期支援を行い、子どもの健やかな成長発達を促すことができた。 ○乳幼児期の子どものう歯保有率及び一人当たりのう歯本数は年々減少傾向にあり、保護者の意識を高め、子どものう歯を減らすことにつながった。今後も生涯を通じた健康な歯と口腔を保つため、食や歯磨き・フッ化物の利用など正しい知識の普及啓発に努めていく必要がある。					
事業所管課	健康長寿福祉部/健康推進課					

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	02母子健康支援事業
細事業名	02 妊婦健康支援事業			決算書 P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
29,312千円		29,363千円	51千円	99.8 % 29,923千円
目的	妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査を実施することにより、妊婦の健康づくりを支援し、疾病の早期発見、早期治療を促す。			
主要な事務・事業及び成果の概要	【妊婦健康診査】		29,063千円	
	妊婦健診は、平成21年度より公費負担を基本健診5回から、基本健診14回と検査項目ごとの追加検査(14項目)に拡充し、妊婦が安心して受診、出産できる環境を整備した。			
	○妊婦健康診査委託料		28,151千円	
	○妊婦健康診査助成金(里帰り受診)		733千円	
	○印刷製本費(受診券綴り)		79千円	
	○消耗品費(母子健康手帳購入)		100千円	
	○妊婦健康診査受診券交付者数 402人			
	【妊婦歯科健康診査事業】		249千円	
	妊婦の口腔衛生の向上を図るために、1回の妊娠につき1回の歯科健康診査受診費用の一部助成を行った。			
	○妊婦歯科健康診査委託料		240千円	
	○妊婦歯科健康診査助成金(里帰り受診)		9千円	
	○妊婦歯科健康診査受診者数 100人			
主な財源	府補	妊婦健康診査費補助金(1/2)	9,983千円	
評価・課題等	○妊婦健康診査については、確実に妊娠期に必要な定期検診を受診する機会となっており、妊婦が安心して妊娠出産に臨むために有効な事業となっている。 ○妊婦歯科健診については、さらに多くの妊婦に活用してもらえるように広報や周知方法の工夫が必要である。			
事業所管課		健康長寿福祉部/健康推進課		

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	03母子保健費	03発達障害児等早期発見・早期療育支援事業	
細事業名	01 発達障害児等早期発見・早期療育支援事業			決算書	P.170
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市		計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
407千円		483千円	76千円	84.2%	750千円
目的	子どもが安心して自信を持って就学が迎えられるように、発達障害等の早期発見及び早期療育を進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○対象児：市内保育所・幼稚園に通う4歳児 (平成19年4月2日から20年4月1日生まれ) 実施人数 449人				
	○事業内容及び成果 保護者説明会を開催し、事業説明及び幼児期後半の子どもの発達と対応について健康教育を実施。問診票を配布し100%の回収率を得られた。一次スクリーニングと行動観察の結果により、事後支援として府発達相談・こどもクリニック、市すくすく子育て相談、保健師による個別相談を実施した。				
	最終スクリーニング結果		要支援児の支援方法(重複あり)		
	問題なし	273人	60.8%	発達相談(保健所)	12人
	経過観察	124人	27.6%	こどもクリニック(保健所)	10人
要支援	38人	8.5%	すくすく子育て相談(市相談員)	14人	
管理中	14人	3.1%	巡回相談(支援センターよさのうみ)	5人	
			療育(療育施設の利用)	5人	
※経過観察：個人の特性はあっても、ごく軽微であり経過観察でよいもの					
※管理中：すでに医療機関・療育機関等でのフォローを受けており本事業からの介入は不要であるもの					
○事業費					
	発達障害児等早期発見・早期療育支援相談員報酬(2人)			356千円	
	旅費(委員費用弁償)			14千円	
	需用費(発達検査用具・問診用色上質ほか)			37千円	
主な財源	府補	発達障害児等早期発見・早期療育支援事業費補助金(1/2)		185千円	
評価・課題等	○支援の必要な幼児について、保護者、保育所・幼稚園職員及び専門機関と連携し、早期発見・早期支援・早期療育に結びつけることができた。 ○個々の支援について、関係者及び関係機関による連携が、市の子育て支援全体の中で有効に機能するように企画運営会議の充実を図っていく必要がある。				
事業所管課		健康長寿福祉部/健康推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	02総合検診事業		
細事業名	01 総合検診事業			決算書 P.172		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額		
103,436千円		103,482千円	46千円	99.9 % 110,773千円		
目的	がんや疾病の早期発見を行うとともに、生活習慣病予防のための健康意識を高め、生活習慣の改善につなげる。					
主要な事務・事業及び成果の概要	健康診査と各種がん検診などを同時に受けることができる総合検診として、地域の公民館等で実施した。					
	○実施期間：平成24年5月22日～10月5日					
	○実施日数及び会場数：49日間・27会場（各保健センター及び公民館等）					
	○検診業務委託料 100,682千円					
	委託先：京都予防医学センター・京都府医師会					
		検診内容	対象者	受診者数	受診率	前年度比較
	健康診査		20～39歳	953人		△90人
			75歳以上	1,675人		43人
			生活保護・その他	70人		△7人
	がん検診	肺がん	40歳以上	8,344人	44.8%	80人
胃がん		40歳以上	5,003人	26.9%	37人	
大腸がん		40歳以上	7,801人	41.9%	53人	
肝炎ウイルス		40歳以上	810人		132人	
前立腺がん		55歳以上	2,248人		△46人	
腹部超音波		40～70歳（5歳毎）	1,423人		156人	
子宮がん（集団）		20歳以上	2,720人	44.6%	△362人	
子宮がん（個別）		20～40歳（5歳毎）	48人			
	乳がん	40歳以上	2,799人	46.7%	△27人	
	○送迎車両運転委託 20千円					
	○印刷製本、消耗品等（案内チラシ、申込書印刷等） 809千円					
	○通信運搬費（申込書、案内チラシ等） 1,910千円					
	○会場使用料 15千円					
主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）		3,335千円		
	府補	健康増進事業費等補助金（基本額2/3）		1,474千円		
	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（基本額2/3）		3,386千円		
評価・課題等	節目年齢に個別勧奨通知を行っている子宮頸がん・乳がん・大腸がんのうち子宮頸がん検診の受診者は362人の減少となった。今後も継続して各種検診の受診率向上に向け、検討を行っていく必要がある。					
事業所管課		健康長寿福祉部／健康推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	04老人保健費	03機能訓練事業										
細事業名	01 機能訓練事業			決算書 P.172										
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進										
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額										
143千円		219千円	76千円	65.2 % 210千円										
目的	疾病、外傷、老化等により心身機能が低下している方に対し、心身機能の維持回復に必要な訓練を行うことで、日常生活の自立を助け、介護を要する状態になることを予防する。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>体力増進等を目的とした運動、絵画やなどの手工芸、レクリエーションや交流などの活動を通じて訓練を行った。</p> <p>○実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後リハビリの会 脳卒中などの疾病や外傷、その他の原因により心身機能の低下がある方を対象に閉じこもり、生活機能低下予防を目的とする。 実施回数：14回、参加実人数：22人、参加延べ人数：164人 ・あじさいの会（リウマチ交流会） リウマチ疾患の方を対象に、疾病の自己管理や生活機能低下予防のための知識普及を目的とする。 実施回数：6回、参加実人数：20人、参加延べ人数：72人 <p>※両教室において、65歳未満の実人数 3人／42人中（7.1%） ※対象者のうち、65歳未満分の経費のみ一般会計で執行し、65歳以上分は介護保険特別会計で執行</p> <p>○経費</p> <table border="0"> <tr> <td>臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）</td> <td>44千円</td> </tr> <tr> <td>講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・作業療法士・絵手紙講師）</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料、通信運搬費）</td> <td>12千円</td> </tr> <tr> <td>送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料、手数料、自動車重量税）</td> <td>45千円</td> </tr> <tr> <td>委託料（送迎のための運転業務委託）</td> <td>32千円</td> </tr> </table>				臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）	44千円	講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・作業療法士・絵手紙講師）	10千円	事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料、通信運搬費）	12千円	送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料、手数料、自動車重量税）	45千円	委託料（送迎のための運転業務委託）	32千円
臨時職員に関する経費 （介助員・看護師賃金）	44千円													
講師に関する経費 （歯科衛生士・運動講師・食生活改善推進員・作業療法士・絵手紙講師）	10千円													
事業の教材・資料等に関する経費 （消耗品費、賄材料費、会場借上料、通信運搬費）	12千円													
送迎車両の維持管理に関する経費 （燃料費、修繕費、保険料、手数料、自動車重量税）	45千円													
委託料（送迎のための運転業務委託）	32千円													
主な財源														
評価・課題等	<p>○事業への参加により、社会参加や交流の場となっており、参加者はほとんどが心身機能の現状維持を図ることができた。</p> <p>○京丹後リハビリの会については、介護保険事業との重なりがあるため、今後調整が必要である。</p>													
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課													

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	01保健衛生総務費	03自殺予防対策事業
細事業名	01 自殺予防対策事業			決算書 P.166
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	① 市民主体の健康づくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,923千円		2,031千円	108千円	94.6 % 2,031千円
目的	かけがえのない生命が自らの手で絶たれているという痛ましい現実の中、自殺者をなくすために市民、行政、関係機関及び団体等が一体となって自殺予防対策を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	自殺者ゼロを実現するため、「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」の構成団体と連携のもと、悩みを抱える人への「気づき」を大切に、人材の養成に重点を置いた事業（こころ・いのち・つなぐ手研修、傾聴講座）を展開するとともに、臨床心理士によるこころの健康相談、こころの健康づくり講演会（こころの健康相談会を同日開催）、フリーアクセスによる無料相談電話を引き続き実施した。			
	さらに、市民への啓発活動として、4回の街頭啓発を実施。概ね1,500人に啓発物品を配布した。			
	○フリーアクセス相談窓口受入謝金（京都いのちの電話）	100千円		
	○フリーアクセス通話料 475件	379千円		
	○こころ・いのち・つなぐ手研修会（2回開催） ゲートキーパー研修を名称変更し開催（参加者：延べ99人）	115千円		
	○こころの健康相談事業（毎月1回） 臨床心理士による相談日開設（相談者：延べ33人）	390千円		
	○傾聴講座（2回開催）（参加者：延べ78人）	165千円		
	○こころの健康づくり講演会及びこころの健康相談会 平成24年10月25日（木） 演題「笑いとは心と脳の処方せん」（参加者：172人）	289千円		
	○自殺予防街頭啓発（協議会構成団体、丹後保健所及び市職員で実施）			
	日程	会場	啓発物品配布数	
5月16日	マイン（峰山）	400セット		
9月10日	にしがき（大宮店、大宮バイパス店）	350セット		
12月21日	マイン（峰山）、Aコープあみの	450セット		
3月 1日	にしがき（間人店）、にしがき（弥栄店）Aコープ久美浜	300セット		
○研修関係旅費等	391千円			
○その他共通経費（消耗品・印刷製本等）	94千円			
主な財源	府補 自殺対策事業補助金（10/10）			1,867千円
評価・課題等	○各事業を通じて、参加者に「気づき」の重要性についての理解を深めてもらうことができた。 ○今後は、各種事業を通して養成する傾聴ボランティアの皆さんの活動の場を作るため、悩みを抱える人の居場所づくりの設置等について、関係機関と検討する必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課			